

(資料提供)

月日	担当館名	電話	担当者
2月15日	県立近代美術館 文化の森企画広報室	電話 088-668-1088 ファクシミリ 088-668-7198	学芸課 安達、竹内、友井

美術を楽しむ・わたくし流

「踊る阿呆でええじゃないか ええじゃないか」 の開催について

1. 趣旨

「美術を楽しむ・わたくし流」は、徳島県立近代美術館の所蔵作品展の関連事業として行っている、音楽や舞踊など幅広い分野からの出演者による催しです。出演者が、展覧会場に展示された作品を見て、その場でその出演者の表現分野（演奏や踊りなど）により、感想や解釈を表すというものです。出演者による美術作品へのそれぞれの「わたくし流」のアプローチの仕方とその表現に触れることで、所蔵作品展を訪れた観覧者の方々が、それぞれに「わたくし流」の美術の楽しみ方を見出していただければと思います。

今回は、「所蔵作品展 2013-I」の会場で、阿波踊りの名手として知られ、様々な曲で踊りを披露する「踊る阿呆の生重郎」こと四宮生重郎氏が美術作品を見て、踊ります。

1. 事業名 美術を楽しむ・わたくし流 「踊る阿呆でええじゃないか ええじゃないか」

2. 日時 2月24日〔日〕 午後2時～2時45分

3. 会場 徳島県立近代美術館 所蔵作品展会場(2階)

4. 出演 踊る阿呆の生重郎（四宮生重郎氏）

（プロフィール）昭和3年、徳島市生まれ。23年、阿波踊り「娯茶平連」入会。平成元年、阿波踊り「娯座留連」結成、連長。徳島県内のみならず、昭和42年のハワイ移民百年祭を始め海外でも数多く阿波踊りを披露する。踊る楽しさを大切にし、阿波踊りのお囃子だけでなく、ラテン曲やポップスなど世界の様々な曲での阿波踊りを見せる。

5. 観覧料 所蔵作品展の観覧料が必要です。観覧料：一般200円/大学生100円

※特別展「きんぴアート発見学 つくる&みることの交流展」の観覧券で所蔵作品展もご覧いただけます。

チラシ URL <http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/pr/hodo/doc/shinomiya-w.pdf>